

長期にわたる持続的成長が可能な銘柄に注目

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
 愛称 ザ・ディスカバリー
 追加型投信/内外/株式

足元の投資環境



基準価額

9月21日に設定した岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(愛称 ザ・ディスカバリー)(以下、当ファンド)の基準価額は9月29日現在、為替ヘッジありが9,860円、為替ヘッジなしが9,765円となっています。

為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
9,860円	9,765円

米国株式市場の動き

9月20～21日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが実施された後、米連邦準備制度理事会(FRB)のタカ派的な金融政策が米国経済を後退させるとの懸念が高まったことから、当ファンド設定後の米国株式市場は下値模索の展開が続きました。しかし、28日は、金利上昇の一服を好感する買いが優勢となり、株価は反発しました。

ドル/円の動き

為替(ドル/円)はこの1週間で乱高下する展開になりました。日本政府・日銀が9月22日に円買いドル売りの為替介入を実施したことを受けて急落(米ドル安円高)しましたが、その後は急激なドル/円下落の反動から、円売りの動きが強まり、ドル/円は反発(米ドル高円安)しました。

図表1. S&P 中型株400種指数の日中推移(1分足)
 (9月21日9時30分～9月28日16時14分、NY時間)



図表2. ドル/円の日中推移(1分足)
 (9月21日9時30分～9月28日16時15分、NY時間)



(図表1・2の出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

当面の投資環境の見通し・運用方針



FRBはインフレを抑制する姿勢を明確化しており、9月には0.75%の利上げを行いました。今後も利上げを継続する見込みであり、今後の状況によっては一度に1.00%の利上げに踏み切る可能性もあると考えています。そうした中、昨年+5%を超えるGDP成長を記録した米国経済は減速が避けられず、FRBの見通しでは今年の10-12月期のGDP成長率は+0.2%(前年同期比)にとどまると予想されています。

今後米国が穏やかな景気減速と落ち着いたインフレ水準に軟着陸できるのか、あるいは失業率の大幅な上昇を伴う厳しい景気後退に陥るのか、そうした予想は現時点では非常に難しく、不確実性が高い環境にあると考えています。ファンドの運用においては、足元のFRBのタカ派化による方針の変更等がないと見込まれる中、金融政策やマクロ経済の見通しよりも、**徹底したボトム・アップ・リサーチに基づくファンダメンタルズ分析を重視して銘柄選別を行います。**

—本資料に関してご留意いただきたい事項—

- 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

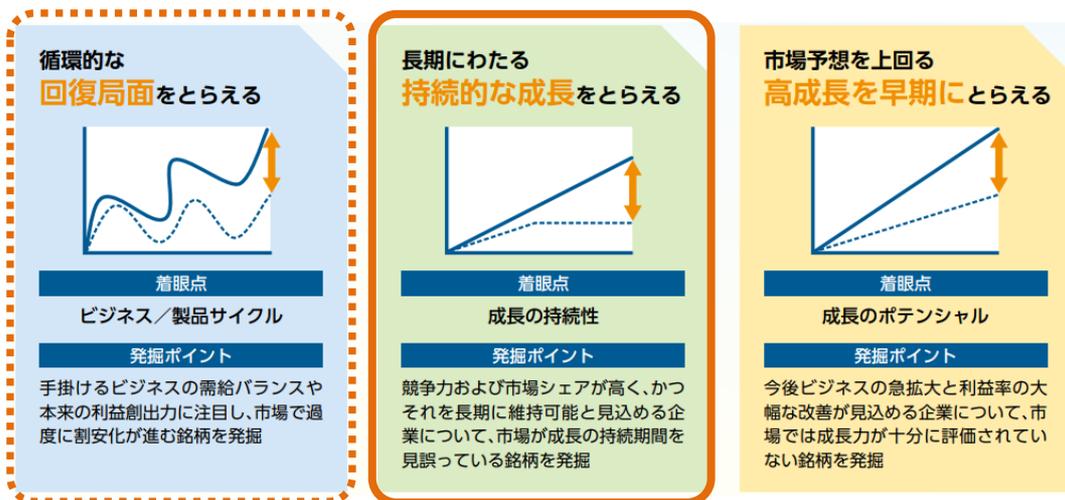
投資先ファンドにおける運用の特徴・注目銘柄の代表例

投資先ファンドの運用について / 『3つの投資機会』に注目



当ファンドが主要投資対象としている「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」では、『3つの投資機会』において将来的な収益成長力が過小評価されている銘柄をボトム・アップ・リサーチにより発掘し、投資します。足元において変動性の高い相場展開が続く中、『3つの投資機会』の中でも特に、**循環的な回復局面が期待できる銘柄**や、**長期にわたる持続的な成長が期待できる銘柄**に有望な投資機会が多いと考えております。セクター別では、前者はエネルギー、後者は金融に含まれることが多く、それらに注目しています。

図表3. 投資先ファンドで注目する3つの投資機会



(出所) フィデリティ投信

「長期にわたる持続的な成長をとらえる」銘柄例



現在注目している投資機会の一つ、「**長期にわたる持続的な成長をとらえる**」銘柄の代表例として、**アメリカン・ファイナンシャル・グループ**(米国、金融セクター)が挙げられます。同社はオハイオ州に拠点を置く60年以上の歴史を持つ金融会社で、法人や個人向けの損害保険を米国で展開し、特に法人向けの専門的な保険商品の分野で強みを持ちます。同社のビジネスは**景気サイクルの影響を受けづらく、また競合他社との比較でも利益創出力が高い**ため、**長期にわたり良好な成長が期待できると**みられます。加えて、中核ではない事業を売却し、株主還元も積極的に行うなど、規律のある経営行動も評価できます。同社は着実な業績成長を続けた結果、長期にわたり株価は大幅に上昇しておりますが、引き続き市場での評価は十分でないと考えており、さらなる持続的な成長が期待できるとみています。

図表4. アメリカン・ファイナンシャル・グループの株価推移



(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(作成 : 運用本部)

—本資料に関してご留意いただきたい事項—

- 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.265%（税抜1.15%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.98%（税抜1.80%）程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただけます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただけます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
 愛称 ザ・ディスカバリー
 追加型投信/内外/株式

販売会社



受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)